

普及活動情勢報告（令和4年10月分）

高吾農業改良普及所

新高梨目慣らし会の開催



9月15日、高吾農業改良普及所でJA高知県佐川支所果樹生産部会の新高梨目慣らし会が開催され、5名の生産者が出席しました。

この会は、新高梨の果実品質を確認して、今年の収穫時期を決定するために毎年行っています。普及所からは、病害虫の発生や夏場の高温により成熟度が進んでいることを説明しました。また、果実品質については、サンプルの重さや、糖度、pH、硬度、みつ症の発生程度を調べました。今年は、大玉で糖度が高く、果実が柔らかくみつ症の発生が多い傾向でした。生産者からは他産地の状況について質問がありました。

普及所は、今後もJAと連携して新高梨の栽培・品質向上を支援していきます。

促成高糖度トマト ～あと少しで収穫開始～



JA高知県日高支所ハウス園芸部会のトマト生産者19名を対象に葉柄中硝酸態窒素濃度や生育診断に応じた施肥管理指導を8月より実施しています。今年は、定植が8月10日頃で例年より4日ほど早いため、出荷始めも10月下旬となりそうです。高糖度トマトのような水分ストレスを強め糖度を高める栽培管理をする品目は、9月中下旬からの曇雨天の影響で、厳しい栽培環境となっています。農家からも「出荷してみないと糖度はわからない」という声も聞かれました。

普及所は今後も、出荷時の糖度データや生育状況をみながら安定生産に向けた支援をしていきます。

仁淀川町の農業を盛り上げよう！



「仁淀川町農業・農地・担い手プロジェクトチーム」（町、普及所、茶業試験場、地域支援企画員で構成）では毎月チーム会を開催し、茶を中心とした農業振興について協議を行っています。

10月13日に8名で開催し、茶農家へのアンケート内容や大規模茶農家との意見交換会の実施時期、担い手の確保対策を中心に協議しました。また別枝地区の集落営農組織が取り組んでいる茶畑の管理状況や地域農産物等の販売方法について確認や検討をしました。

今後はアンケートや大規模農家の意見を反映した茶畑の集約、担い手の確保・育成、茶の有利販売方法などを協議していく予定です。普及所は引き続き関係機関と連携し、仁淀川町の農業振興を支援していきます。